

## ☆働き方改革委員より☆

Qなぜ「働き方改革」が言われているのか？

【文部科学省より】

H29年度から！



「社会の急激な変化が進む中で、子供が予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成するため、学校教育の改善・充実が求められています。また、学習指導のみならず、学校が抱える課題は、より複雑化・困難化しています。このような中、教員勤務実態調査（平成28年度）の集計でも、看過できない教師の勤務実態が明らかとなりました。このため、文部科学省では、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めております。」

日本全国の過労死、長時間労働の増加から・・・

### 1、教師の健康への影響

過労死、精神疾患

### 2、教育への影響

日々疲れている、ゆとりがないと・・・

「よい授業、教育ができない」

「AI等の時代になりつつある今、教師がクリエイティブに深く思考する時間をもてないで、子どもの思考力や想像力を高める教育ができるか？」

「自己研鑽等の学びの時間がとれない。」

### 3、人材獲得への影響

「教員は大変な仕事」=優秀な人材は、教員にはならない。

「人は3つのことから学ぶ」

①本 ②旅 ③人

(出口治明 『知的生産術』より)

心の余裕・幅広い視野が大切！

Q働き方改革とは何か？

「カット、カット！」「早く退勤！」ではない。「**どんな子どもたちを育てるために、どんな教育がしたいか。そのために何を増やし、何を減らすのか！？**」を考え、実践すること。「働き方や学校の業務を見直すことにより、教職員の負担の軽減を図り、限られた時間のなかで教職員が健康でいきいきと働くことができ、子ども達一人一人としっかりと向き合うことができるように。(教職員の働き方改革プラン2020より)」

## 今年度の白川郷学園の働き方改革

### 1、職員の意識改革・スキルアップ

- ・毎週水曜日「スイスイ水曜日」18:00退校する！&「10分早帰り運動」実施
- ・初任研の講話を聴く→スキルアップ=業務の効率化につながる！

### 2、業務の効率化

- ・水曜日、終礼後に「職員室一斉10分間清掃」清潔な執務環境の維持。
- ・印刷室、文具・物品など、収納場所の見える化の取り組み。
- ・会議の時間の明示。例「終了時刻は〇〇時でお願いします」

### 3、メンタルヘルス

ゴール:先生方が一年間、心身共に健康で楽しく働くことができる！(白川郷学園でよかった！)

- ・健康診断の受診、再検査等の確認
- ・職員のペアでの取り組み(目標決めと実践、卓球大会)
- ・共済会の事業を利用して—エアロビ・ヨガ・カウンセリング
- ・白川村「健康ポイント事業」の参加

時間外 45 時間以内・勤務時間の記録は、法律で決まっていること。割り切ってやっていく！シビアなこと・楽しい取組と分けて考える！